

都市再生整備計画 事後評価シート

第2期見附駅周辺地区

令和8年1月

新潟県見附市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	見附市	地区名	第2期見附駅周辺地区			面積	52.3ha			
交付期間	令和元年～令和6年		事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	1315百万円	国費率	48.4%					
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	事業名 地域生活基盤施設(広場)(東口駅前広場整備)、地域生活基盤施設(自転車駐車場)(東口駅前自転車駐車場整備)、地域生活基盤施設(地域防災施設)(地下雨水貯留槽整備)、高質空間形成施設(歩行支援施設)(歩行者用通路整備)、既存建造物活用事業(高次都市施設)(東口駅前交流施設整備)										
		提案事業											
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業											
		新たに追加した 事業	基幹事業										
			提案事業	地域創造支援事業(レンタサイクル整備事業)			自家用車利用から公共交通と連携した歩行(自転車)への誘導するため。			影響なし。			
			提案事業	地域創造支援事業(子どもの居場所整備事業)			駅周辺の賑わい創出のため。			事業の追加により、目標3、指標5を新たに追加した。			
			提案事業	地域創造支援事業(バスロケーションシステム整備事業)			利用者の利便性向上及び利用者の動態把握や、利用者ニーズに即したダイヤ改正につなげることを目的として追加。			事業の追加により、指標4の目標値を200,000人から202,000人に引き上げた。			
			提案事業	事業活用調査(見附駅前実証実験)			駅整備を見据えた交流空間の利活用への理解とにぎわいの創出を目的に、駅前利用者や周辺に居住する住民と合意形成を図るため。			影響なし。			
			提案事業	事業活用調査(立地適正化計画作成支援事業)			都市再生特別措置法の改正に伴う防災指針を立地適正化計画へ追加するため。			影響なし。			
	交付期間 の変更	当 初	令和元年～令和5年		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響								
		変 更	令和元年～令和6年										
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	市民アンケートの満足度	%	16.7	H28	32.7	R7		55.9	○	あり なし		
	指標2	駅前広場の混雑度の改善	台	15	H30	0	R7		8	△	あり なし	●	
	指標3	要支援・要介護認定率	%	17.1	H29	18.9	R7		17.9	○	あり なし		
	指標4	コミュニティバス利用者数	人/年	161,458	H29	202,000	R7		189,855	△	あり なし	●	
	指標5	子どもが遊べる屋内施設の充実	件	647	R1	300	R7		428	△	あり なし	●	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の 数値指標1	駅前交流施設の1日あたり入場者数	人/日	0 (施設整備前のため)	H30			-	189			目標3を実現するために基幹事業で整備した施設であり、目標3を定量化できる指標として、新たに生まれた効果を発現している。	-
	その他の 数値指標2												
	その他の 数値指標3												
4)定性的な効果 発現状況													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	官民連携による 取組		・子どもの居場所の整備においてワークショップを開催し、小中学生や子育て世帯の保護者の意見を反映させた。 ・駅前交流施設がR6にオープンし、施設運営に関してNPO法人等と市が協働して、各種イベント等を通じて、駅前の賑わいを創出した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・ワークショップを開催し、子どもの意見を施設運営等に反映させる。 ・NPO法人等の協働を継続し、駅前の賑わい創出を促進する。		
	持続的なまちづくり 体制の構築		・駅前交流施設の維持管理は市が行うが、施設の運営の一部はNPO法人が行う。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・持続可能な運営体制の構築に向けて体制を検討する。		

様式2-2 地区の概要

第2期見附駅周辺地区（新潟県見附市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標「コンパクトシティ・歩いて暮らせるまちづくりの推進」 目標1 見附市の魅力の1つである「通勤・通学の利便性」の更なる向上 目標2 朝夕の駅周辺の混雑解消と歩行者等の安全の確保 目標3 駅周辺を拠点とした多世代の交流と賑わいの創出		市民アンケートの満足度	単位：％	16.7	H28	32.7	R7	55.9	R7
		駅前広場の混雑度	単位：台	15	H30	0	R7	8	R7
		要支援・要介護認定率	単位：％	17.1	H29	18.9	R7	17.9	R7
		コミュニティバス利用者数	単位：人	161,458	H29	202,000	R7	189,855	R7
		子どもが遊べる屋内施設の充実	単位：件	647	R1	300	R7	428	R7
		■ 基幹事業 地域生活基盤施設【広場】 ・駅前広場整備		■ 提案事業 地域創造支援事業 ・レンタサイクル整備事業		■ 提案事業 事業活用調査 ・立地適正化計画作成支援事業		■ 提案事業 事業活用調査 ・見附駅前実証実験	
		■ 基幹事業 既存建造物活用事業【高次都市施設】 ・東口駅前交流施設整備		■ 提案事業 地域創造支援事業 ・バスロケーションシステム整備事業		■ 提案事業 地域創造支援事業 ・子どもの居場所整備事業		■ 提案事業 地域創造支援事業 ・子どもの居場所整備事業	
		■ 基幹事業 地域生活基盤施設【自転車駐車場】 ・駅前自転車駐車場整備							
		■ 基幹事業 高質空間形成施設【歩行支援施設】 ・歩行者用通路整備							
		■ 基幹事業 地域生活基盤施設【地域防災施設】 ・地下雨水貯留槽整備							
		凡 例 ■ 基幹事業 ■ 提案事業 --- 都市機能誘導区域 --- 居住誘導区域		駅前広場		駐輪場＋交流施設		送迎用駐車場 （地下に地下雨水貯留槽）	
				歩行者用通路		子どもの居場所			
まちの課題の変化	駅周辺整備を実施したことにより、駅前広場の混雑度の改善・駅周辺の景観整備・公共交通と連携した歩行への誘導・駅周辺の賑わい創出に一定の効果があつた。 ただし、駅前広場の混雑度の改善・コミュニティバスの利用者数の増加・子育て支援施設の充実については目標としていた水準までの改善に至っていないため課題として残っている。								
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	◇【整備した駅前交流施設】 NPO法人等と連携し継続的なイベント等の企画を実施することにより利用促進を図る。 ◇【駅前広場の混雑度】 更なる改善が必要であることから、コミュニティバス利用促進のほか、今町側からの送迎車両で東口ロータリー利用者を西口ロータリーへの誘導を図る。 ◇【コミュニティバスの利用者数】 運行内容の見直しにより利便性を向上させるとともに、市広報やHPを活用した周知活動により、自家用車から公共交通へ利用を促す。 ◇【子どもが遊べる施設】 ・整備した子どもの居場所については、ワークショップ開催を通じて、利用者の声を施設運営に反映させ、利用しやすい環境、サービス提供による維持管理を行う。 ・市民アンケートの結果から、子育て支援施設の充実を求める声は多くあるため、市内においてニーズの高い施設の更なる充実を図る。								